

授業科目名	<b>生涯発達看護特論 I</b> <i>Advanced Studies in Nursing across the Lifespan I</i>		担当教員	姫野 稔子、中村 光江 大重 育美、永松 美雪	
開講年次	1 年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	30 (2)
必修選択	専攻領域必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	看護の対象者を生涯発達の観点で捉え、各期に生じる健康問題と生活への影響、それらの援助に必要な概念、諸理論、アセスメントについて探究する。				
到達目標	1. 生涯発達に関する理論・概念を理解できる 2. 発達各期に関する理論・概念・ケアモデルが理解できる 3. 発達各期における理論・概念・ケアモデルを用いて、看護の対象の健康課題を包括的にとらえることができる				
授業計画	<p><b>【生涯発達に関する理論・概念】</b></p> 1 回 発達課題論 (大重) 2 回 ライフサイクル理論 (姫野) 3 回 心理社会的発達理論、社会文化認知理論 (永松) 4 回 道徳性発達理論 (永松) 5 回 行動変容理論 (中村) 6 回 家族発達理論 (大重)				
	<p><b>【発達各期の理論・概念・ケアモデル】</b></p> 7 回 セクシュアリティにおける発達課題と健康課題 (永松) 8 回 病みの軌跡理論 (中村) 9 回 情動的中範囲理論 (姫野) 10 回 社会的学習理論 (姫野) 11 回 アイデンティティ生涯発達論 (大重)				
	<p><b>【健康課題とアセスメント】</b> ※12～15(姫野・中村・大重・永松)</p> 12 回 発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント (1) 13 回 発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント (2) 14 回 発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント (3) 15 回 発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント (4)				
学習方法	生涯発達・発達各期に関する理論等の講義・ワークシートを用いた演習に加え、発達各期の事例課題より、適切な理論、概念などを用いて、患者の健康課題を包括的に検討し、より効果的なアセスメントや看護についてプレゼンテーション、ディスカッションを行う。				
オフィスアワー	以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。 姫野：火曜日の昼休み、 <a href="mailto:t-himeno@jrckicn.ac.jp">t-himeno@jrckicn.ac.jp</a> 中村：火曜日・木曜日の昼休み、 <a href="mailto:m-nakamura@jrckicn.ac.jp">m-nakamura@jrckicn.ac.jp</a> 大重：火曜日、水曜日の昼休み、 <a href="mailto:n-ooshige@jrckicn.ac.jp">n-ooshige@jrckicn.ac.jp</a> 永松：水曜日の昼休み、 <a href="mailto:m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp">m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp</a>				
テキスト	特に指定はしない				
参考文献	佐藤栄子：中範囲理論入門。東京，日総研，2007。 筒井 真優美：看護理論家の業績と理論評価。東京，医学書院，2015。				
評価方法	授業への参加度・ディスカッション (50%)、プレゼンテーション (50%)				